

報 道 発 表

【令和8年8月20日】



公立大学法人尾道市立大学
事務局企画広報室（担当）土岸・藤田
電話 【代表】(0848)22-8311
FAX (0848)22-5460
E-mail jimukyok@onomichi-u.ac.jp
〒722-8506 尾道市久山田町 1600 番地 2

件名	尾道市立大学 新附属図書館のオープニングイベントを開催します。
----	---------------------------------

尾道市立大学では、新附属図書館の開館に際し、次のとおりオープニングイベントを開催します。

すべてのイベントは、予約不要、入場無料となります。

【オープニングイベント】

- 日 程 令和8年9月26日（土） 10時00分～16時00分
- 会 場 尾道市立大学 新附属図書館（久山田町1600番地2）
- 内 容 開館記念式典、湊かなえ氏ワークショップ、藤村哲也氏特別講演や新附属図書館内見学など

《湊かなえ氏ワークショップ》

演題：【「表現する」ということ】

概要：事前課題として、尾道水道の四季折々の写真をモチーフに、学生個々の発想から小説の1シーンとして文書表現したものを、本ワークショップにおいて、参加者が考察します。

会場：図書館2階ラーニングコモンズ

時間：11:00～12:00

※ワークショップ終了後、記念サイン会を開催します。

《藤村哲也氏特別講演》

演題：【漫画・アニメ・ゲームなどの日本 IP グローバル映像化の未来】

概要：日本は漫画・アニメ・ゲームなどの「IP 大国」として、世界に誇る数多くの IP（知的財産）を生み出してきました。

本講演では、こうした日本発 IP のグローバル映像化の現状を、アジア市場やハリウッドでの展開を事例にひも解きます。また、言語や国境を越えるエンターテインメントの時代において、日本 IP がどのように進化し、今後さらにどのような可能性を持ち得るのか、その未来の展望についても考察します。

会場：E棟4階401講義室

時間：13:30～15:00

問い合わせ先：尾道市立大学企画広報室
電話(0848)22-8311（代表）

【添付資料】 ☒ 有 ☐ 無



尾道市立大学 新附属図書館 9月26日(土) OPEN

Academic Square ～尾大の知を凝縮・創造・発信する図書館～

面積・収蔵能力

3,114.65㎡
旧館の約3.2倍

25万冊
旧館より10万冊増

一般の方も歓迎

学内外問わず、
どなたでもご利用いただけます。

※小学生以下の場合は保護者の方の
付き添いが必要です。

多様な室内空間

会議室・研修室
ラーニングcommons
グループ学習室
個人学習室
サイレントルーム

バリアフリー設備の充実

バリアフリースイレ
エレベーター
思いやり駐車場
マップの点字表示

授業期間	平日	8:45～20:00
	土曜日 日曜日	8:45～17:00
	祝日	閉館 ただし、授業日は開館
休業期間	平日	8:45～17:00
	土曜日 日曜日 祝日	閉館

階を上がるごとに、より集中できる学習空間へ

3F 本の森

個人席を多く配置し、一人で集中できる空間です。

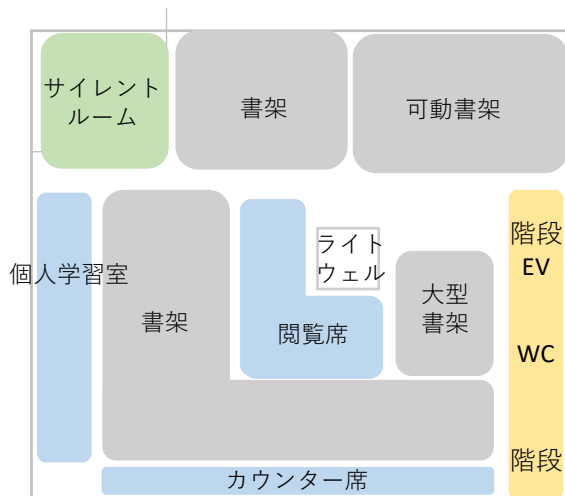
【資料ジャンル】 哲学・歴史・芸術・言語・文学
洋書・雑誌バックナンバー・大型本



書架



個人学習室



2F 学びの広場

ラーニングcommonsをはじめ、グループで学ぶことができる空間です。

【資料ジャンル】 総記・社会科学・自然科学・工学
産業・文庫・新書・参考図書



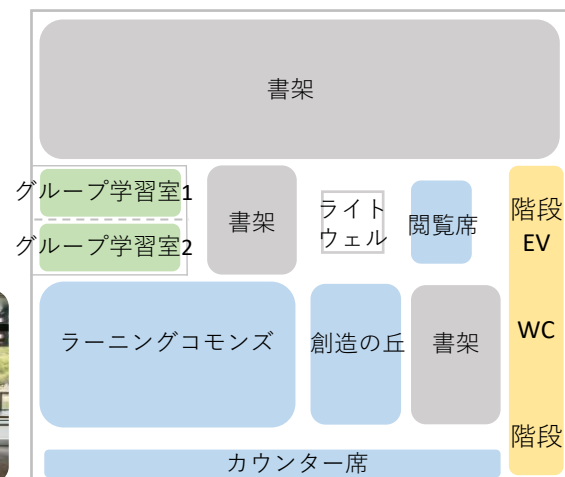
ラーニングcommons



グループ学習室



カウンター席



1F 未知との出会い

学生の成果を発表するための機能により、学生と市民、他学科の学生との交流を促す空間です。

【資料ジャンル】 新着本・大学関連図書・尾道関連図書
漫画・絵本・雑誌・視聴覚資料

入口



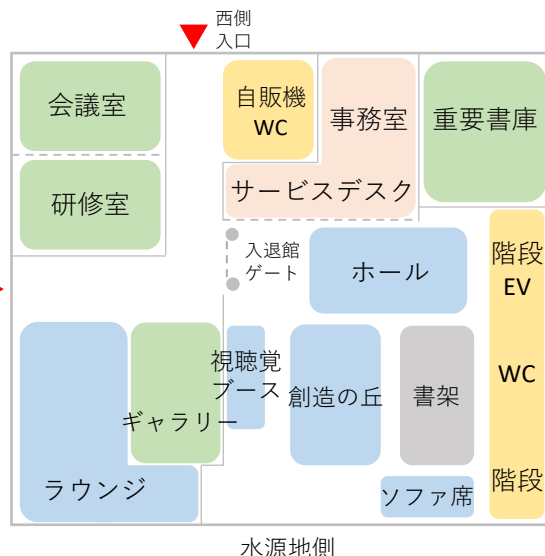
ホール



創造の丘



ラウンジ





尾道市立大学附属図書館 オープニングイベント 9月26日(土) 開催

10:00～11:00

開館記念式典

あいさつ
テープカット
寄附者紹介
愛称お披露目

図書館入口

11:00～12:00

湊かなえ氏 ワークショップ

【「表現する」ということ】

図書館2階ラーニングcommons

記念サイン会

図書館1階研修室

13:30～15:00

藤村哲也氏 特別講演

【漫画・アニメ・ゲームなどの日本IPグローバル映像化の未来】

E棟4階401講義室

10:00～16:00

附属図書館内見学

※すべてのイベントは、予約不要、入場無料です。

※当日は、学生食堂が営業しています。

※本学図書館は、学内外問わず、どなたでもご利用いただけます。

湊かなえ氏 ワークショップ

「表現する」ということ

事前課題として、尾道水道の四季折々の写真モチーフに、学生個々の発想から小説の1シーンとして文書表現したものを、本ワークショップにおいて、参加者が考察します。



撮影/山口宏之

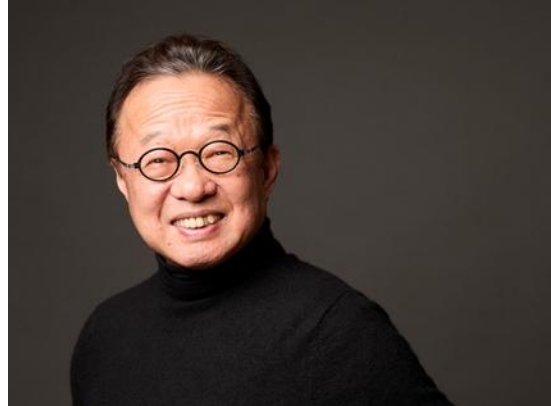
湊かなえ氏 プロフィール

1973年、広島県生まれ。
デビュー作『告白』は2008年「週刊文春ミステリーベスト10」第1位、2009年本屋大賞を受賞。2014年にはアメリカ「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙のミステリーベスト10に、2015年には全米図書館協会アレックス賞に選ばれた。
2012年「望郷、海の星」で日本推理作家協会賞短編部門受賞。
2016年『ユートピア』で山本周五郎賞受賞。
2018年『贖罪』がエドガー賞（ペーパーバック・オリジナル部門）候補となる。
近刊に『人間標本』『C線上のアリア』『暁星』などがある。
2026.7.23『王国』刊行

湊かなえ氏 小説作品

- 2008年『告白』
- 2009年『少女』『贖罪』
- 2010年『Nのために』『夜行観覧車』『往復書簡』
- 2011年『花の鎖』『境遇』
- 2012年『サファイア』『白ゆき姫殺人事件』『母性』
- 2013年『望郷』『高校入試』
- 2014年『豆の上で眠る』『山女日記』『物語のおわり』
- 2015年『絶唱』『リバーズ』『ユートピア』
- 2016年『ポイズンドーター・ホーリーマザー』
- 2018年『未来』『ブロードキャスト』
- 2019年『落日』
- 2021年『ドキュメント』『残照の頂 続・山女日記』
- 2023年『人間標本』
- 2025年『C線上のアリア』『暁星』
- 2026年『王国』

藤村哲也氏 特別講演



漫画・アニメ・ゲームなどの 日本IPグローバル映像化の 未来

日本は漫画・アニメ・ゲームなどの「IP大国」として、世界に誇る数多くのIP（知的財産）を生み出してきました。
本講演では、こうした日本発IPのグローバル映像化の現状を、アジア市場やハリウッドでの展開を事例にひも解きます。また、言語や国境を越えるエンターテインメントの時代において、日本IPがどのように進化し、今後さらにどのような可能性を持ち得るのか、その未来の展望についても考察します。

藤村哲也氏 プロフィール

1953年広島県生まれ。1971年広島県立尾道北高校卒業、1976年慶應義塾大学法学部卒業。

フィロソフィア株式会社代表取締役。ギャガ・コミュニケーションズ（現・ギャガ株式会社）創業者。

漫画・アニメ・ゲームなど日本IPを元にしたハリウッドでの映画・TVシリーズ製作を手がける。世界的に大ヒットしたNetflix「ONE PIECE」実写シリーズではエグゼクティブ・プロデューサーを務める。

同時にエンタメ業界の映画・TVドラマの国際的なコンサルティングサービスを行い、国内外の一流企業をクライアントとして有する。

2017年4月から2026年3月まで デジタルハリウッド大学 特任（および特命）教授を務める。

藤村哲也氏 フィルモグラフィ

公開された作品

映画「ゴースト・イン・ザ・シェル」（2017）エグゼクティブ・プロデューサー

Netflix「カウボーイビバップ」（2020）エグゼクティブ・プロデューサー

Netflix「ONE PIECE」（2023）エグゼクティブ・プロデューサー

Netflix「ONE PIECE シーズン2」（2026）エグゼクティブ・プロデューサー

藤村哲也氏 発表されている企画開発／プリプロダクション中の作品

Netflix「ONE PIECE シーズン3」（2027年公開予定）エグゼクティブ・プロデューサー

ゼルダの伝説（実写映画化・2027年公開予定）エグゼクティブ・プロデューサー

NARUTO -ナルト-（実写映画化）エグゼクティブ・プロデューサー

ワンパンマン（実写映画化）エグゼクティブ・プロデューサー

メタルギアソリッド（実写映画化）エグゼクティブ・プロデューサー